

2018年4月8日

2016年度 COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	3.11 を語りつぐ会	
代表者名	渡辺祥子	
住所	〒982-0011 仙台市太白区長町 3-7-1(びすた〜り内)	
電話番号	022-352-7651	FAX 022-352-7652

1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	宮城と熊本をつなぐチャリティ企画 『大野勝彦講演会』 『大野勝彦詩画展～負けない 逃げない 諦めない～』
事業の目的	熊本地震から1年となる2017年4月に、チャリティ講演会と展示会を開催。地震により大きな被害を受けた阿蘇にある「大野勝彦美術館」の大野勝彦氏をお迎えし、被災から立ち上がる一助になるチャリティ講演会と、関連規格として藤崎百貨店での展示を実施。かつて事故により両腕を失った所から、義手で絵や詩を描き美術館をオープンさせ、今また震災から立ち上がる大野氏の生きる姿を通して、東日本大震災の被災の地である宮城の皆さんにも生きる力を届けたいと、熊本と宮城、同じ被災地双方の力になるものとして企画。
事業の具体的内容	戦災復興記念館記念ホールでの大野勝彦氏講演会を企画。大野市の講演を同時に、当会代表で長年氏との親交もある渡辺祥子との対談との二本立てで開催。熊本地震で被害を受けたところから、美術館を再開させるまでの道のりの話と共に、両腕を失ってからの日々について、写真画像なども使用しながら語って頂く。 また、関連企画として藤崎百貨店では展示会も開催し、大野市の作品に触れて頂きながら、ミニトークショーやサイン会等も開催し、多くの市民とのふれあいの機会を提供。
活動の開始から完了までの流れ	2017年4月の熊本地震を受け、代表の渡辺祥子が9月に熊本に大野勝彦氏を訪ねる。美術館再建に向け必死に活動をする氏の姿を見て、東日本大震災の時に温かい支援

	<p>を受けた自分たち宮城でも何か出来ないかと話し合い、『阿蘇・風の丘大野勝彦美術館』再建は熊本の方々の希望にもなる！」と、大野氏と美術館再建のための支援をすると同時に、同じ被災地である宮城と熊本をつなぐ企画にすることを決定し、講演会を企画。更に、より多くの人々に知って頂く機会を増やそうと、大野氏の詩画展の開催を藤崎百貨店に提案。会場の提供を受け4月6日～11日までの5日間開催。展示会開催期間前半の4月7日に講演会を開催し、連携企画として実施した。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>私どもの活動の根底に流れるのは、東日本大震災の被災の地で懸命に生きる人々の姿を通し、「生きる力」を被災者と支援者双方で共有し、未来を生きる人々にも伝えていきたいとの思いであり、それをベースに被災地支援や、被災者と支援者をつなぐ活動をしている。</p> <p>そのような中で、その後発生した熊本地震の被災地へも何か支援が出来ないか、更に、双方をつなぐことで、これまでも実施してきた「生きる力」を共有し、伝えることが出来ないかとの思いから立ち上げた企画だったが、当初の企画趣旨を叶えることが出来たと実感している。</p> <p>講演会来場のお客様からは、「涙がとまりませんでした。私もしっかり生きていきます」(60代女性)「苦しいのは自分だけではないと勇気を貰いました」(50代男性)「震災のことを忘れがちでしたが、宮城だけでなく、熊本も含め、自分に出来る事をしていこうと思いました」(20代女性)など、被災地や自分の生き方に目を向ける一助となったことはとても嬉しいことだった。</p> <p>また、大野勝彦氏からは、美術館再オープンに向け、資金面でも精神面でも大いに助かったし励まされたとの喜びの声を頂いた。</p> <p>こうして仙台での企画が開催された翌週に再オープンされた大野勝彦美術館のニュースは、熊本中に大きな喜び・希望のニュースとして報じられ、我々(関係して下さったお客様も含め)も、少しなりともその手助けが出来た事を、嬉しく思っている。</p> <p>自分たちの地域のみならず、他地域にも目を向け、この地の人々とのつながりを作る活動をすることにより、活動の幅が出来たと実感している。広い視野に立った活動の必要性を改めて感じた。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>今回は熊本地震のチャリティだったが、熊本に対しての継続的な支援はなかなか難しいものがある。しかしながら、常に連絡を取り合い、応援しているという思いを届</p>

	<p>け続け、そして同じ被災の地である宮城でもしっかり活動をしているという報告をするなど、つながりを持ち続けることでの支援をしていきたい。また、何かの際には共に助け合える関係でいたいと考えている。</p> <p>更に、今回の企画で実感した、支援をさせて頂く人や地域を広げことでのお客様の理解の深まりや更なる行動へつながった事などをいかし、今後も幅広い活動をしていきたいと思う。</p>
--	--

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
チケット販売収入より	14,002	
合計	314,002	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
荷造運賃	絵画作品運搬	200,000	93,096
旅費交通費	大野氏航空券、宿泊費他	125,000	104,140
消耗品	パネル、紙購入		34,174
制作費	チラシ作成	50,000	28,872
会場費	講演会会場費	60,000	53,830
合計		435,000	314,002

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)